



草 笛

教育目標

～生氣広野に充ちる北の大地に立ち～

1. 考えを深め表現・創造する人間
2. 心豊かに思いやりを実践する人間
3. 自らをきたえたくましく生きる人間

帯広市立帯広第七中学校 学校だより

No.11 令和元年10月31日発行

深い学びがそこにある

校長 小玉 功

令和3年から完全実施となる新しい学習指導要領に合わせて、今年度から総合的な学習の時間のカリキュラムの改善を図っています。そのため、今年は8月に3年生が、そして10月には2年生が職場体験を行うという事態となり、生徒たちを受け入れていただきました各店舗や事業所の皆様には、ただただ恐縮の念と、感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございました。

職場体験を通して、生徒たちは何を学ぶ(学んだ)のでしょうか。体験を終えた2年生の生徒たちが、次のような振り返りをしています。

- 自分のために仕事をするという考えから、人のために仕事をするという考えに変わった。
- 働くことは、お金を得ることだけが目的ではない。人のため、社会のために働くのだと思った。これからは、何のために行動しているのかを考えていきたい。
- 働くということは、そこに人との触れ合いがあり、その人のことを知らないといけないことがある。人を思い、人の役に立つ社会人になりたい。

職場体験は、職業探しではありません。私は、生徒一人一人が、「自分らしい生き方を展望するためのきっかけになるもの」と考えています。

「仕事」とは、社会に出て働くこと、あるいは家事をこなすことです。ですから、仕事はお金を稼ぐ手段ではありません。人の価値は、「どんな仕事に従事するか」によって決まるものではなく、どんな仕事であっても、その仕事に「どのような態度で取り組むか」によって決まります。すべての仕事は、人々が共同で生きている(社会を形成している)以上、その中の誰かがやらなければならないことであり、私たちはそれを分担しているに過ぎません。「どんな仕事に就くか」ではなく「その仕事に、どんな態度で取り組むか」によって、人間の価値は決まるのです。

こんな話を学校の授業でどんなにしても、生徒たちにはなかなかピンときません。というより、「先生、なに難しい話してるんだらう。」で終わってしまいます。ですが、地域に出かけ、地域から学べば一発です。生徒たちが書いた振り返りがなによりの証拠です。

大正・中札内で生活を営む皆様の誠実さや仕事に取り組む姿が、生徒たちの心に響き、生徒たちを素敵に成長させてくれています。ありがとうございます。

七中生の努力と活躍!

- ◆帯広市青少年「いじめ非行防止標語」
佳作 1年 「助けて」の既読スルーはしたらダメ
2年 認め合う 広い心で いじめなし
- ◆帯広市中学生英語スピーチ・暗唱コンテスト
暗唱の部出場 2年 3年
スピーチの部出場 3年
- ◆水泳第38回道東選手権(短水路)
100m自由形 1位 記録 57秒62
200m自由形 1位 記録 2分05秒52
100m背泳ぎ 2位 記録 1分08秒82
200m個人メドレー 1位 記録 2分19秒75
- ◆全十勝中学校秋季アイスホッケー大会
優勝 全十勝B 所属
- ◆第4回全道中学校アイスホッケーオータム大会
第5位 全十勝B 所属
- ◆全十勝中学校秋季バレーボール大会
七中0-2更別中央中学校 1回戦敗退
- ◆北海道ソフトテニス1年生王座大会
ペア 1回戦敗退
- ◆インドアテニス一次予選会
飯田・森ペア 1回戦敗退 ペア Eブロック2位
- ◆全十勝中学校秋季バドミントン大会
女子団体1部 1回戦敗退 女子団体2部 1回戦敗退
女子シングルス 1回戦敗退
2回戦敗退
女子ダブルス ペア ペア
ペア 1回戦敗退
- ◆2019年度第1回スピードスケートタイムトライアル
男子500m 38秒97
男子1000m 1分19秒91



ハロウィンかぼちゃ

1年生が、総合的な学習の時間を使って栽培したおばけカボチャが完成し、今年も藤丸、幸福駅、とかちむら、大正市街地でなどで展示されました。

先日、展示されている場所に出かけてみると、観光で訪れていると思われる外国の方々や地元の方と思われる家族連れの皆さんが、生徒たちの作った「変顔カボチャ」と一緒に、笑顔で記念撮影をしていました。1年生の素敵な地域貢献、ありがとう。



11月行事予定

日	曜	予 定
1	金	安全確認の日 PTA広報部会
2	土	
3	日	文化の日
4	月	振替休日
5	火	Jアラート訓練
6	水	朝の集会 進路説明会(3年)
7	木	学カテスト(全学年)
8	金	スクールカウンセラー来校日
9	土	中学生からのメッセージ
10	日	帯広市小中学校合同音楽祭
11	月	職員会議
12	火	三者面談(3年) 集金日
13	水	三者面談(3年) 集金日
14	木	三者面談(3年) 集金日 帯広市造形点(～19日)
15	金	三者面談(3年)
16	土	大正小学習発表会
17	日	愛国小学習発表会 市P連研究大会
18	月	安全確認の日 ALT 研修日
19	火	三者面談(3年)
20	水	中間テスト(1・2年) 三者面談(3年) ナウマン号
21	木	教育相談(1・2年) 図書ボランティア来校日
22	金	教育相談(1・2年) スクールカウンセラー来校日
23	土	勤労感謝の日 全十勝インドアテニス大会
24	日	
25	月	研修日
26	火	教育相談(1・2年)
27	水	教育相談(1・2年)
28	木	教育相談(1・2年)
29	金	教育相談(1・2年)
30	土	バドミントン全道新人地区予選 PTAスポーツ交流会

経営方針

社会に出る力を身に付けた自立した人間としての資質を「認め、支え、高め合う教育」と「師弟同行」によって達成していく。

令和元年10月から、帯広第七中学校区（愛国小、大正小、帯広第七中）は、一つの学校運営協議会を設置し、帯広第七中学校区コミュニティ・スクールとして、新たな出発をする事になりました。

コミュニティ・スクールの導入は、これまで各地域・各学校・各単PTAが行ってきた学校への協力や支援を、もう一段階発展させたものです。具体的にいうと、この地域で育つ子どもたちのために、目指す姿を共有し、互いが責任を分担し、義務教育終了までにできることを話し合ったり、行動したりしていくことです。

令和元年度の帯広第七中学校区コミュニティ・スクール協議会の委員さんは、次の方々です。

愛国小学校区より

鬼崎友宏氏 藪田秀行氏 小澤由美子氏 山口浩之氏

大正小学校区より

飯田暢弘氏 松田真里加氏 渡利比查志氏 松浦卓丸氏

帯広第七中学校区より

道下隆宏氏 桃井敦子氏 中谷宗博氏 深田敬吾氏

の12名の方々と、各校校長の3名を合わせた15名です。

今年度のコミュニティ・スクール協議会の主な取組は、

- 1 今年度の学校運営に関する基本的な方針の承認
- 2 学校運営に関する意見の申出
- 3 学校運営等に関する評価
- 4 住民の参画の促進等のための情報提供

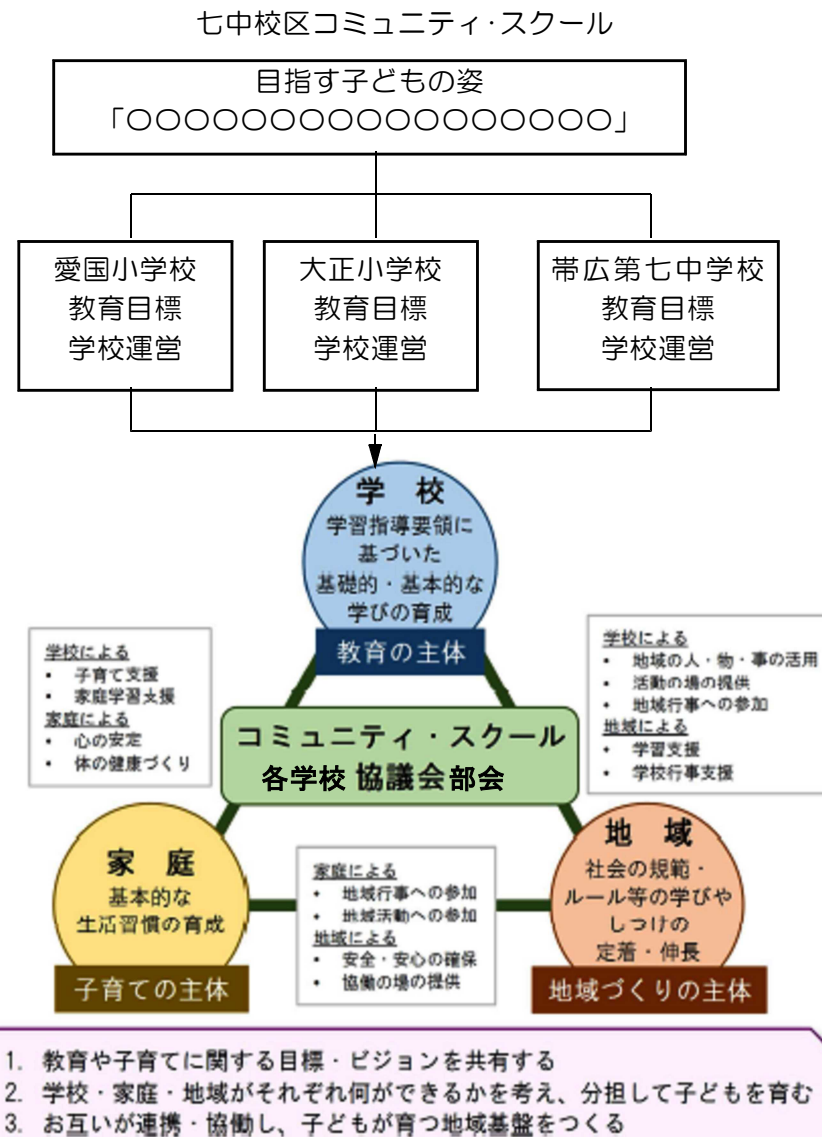
とともに、

◎ 学校・家庭・地域が「どのような子どもを育てるのか」という目指す子ども像を作成することです。今年度の12月を目途に、その作業をコミュニティ・スクール協議会が中心となって進めていくこととなります。

令和元年度 帯広第七中学校の教育

令和元年10月31日発行

そして、次年度より、目指す子ども像を各学校の教育目標の上位目標として掲げ、学校・家庭・地域がそれを目標やビジョンとして共有し、それに向かって連携・協働を一層促進することを目指します。



情報発信号

帯広第七中学校区
コミュニティ・スクール

今年度のコミュニティ・スクール協議会の日程は次の通りです。

10月31日(木)

第1回コミュニティ・スクール協議会

- ・ 委員への辞令交付（市教委）
- ・ 各校の学校運営の基本方針の承認
- ・ 目指す子ども像の作成に向けた熟議

11月

- ・ 目指す子ども像の作成に向けた調査の実施

12月上旬

第2回コミュニティ・スクール協議会

- ・ 調査結果を基に目指す子ども像の協議・決定

2月 コミュニティ・スクール学校部会

- ・ 学校運営状況等についての学校ごとの評価
- ・ 令和2年度学校運営の基本方針の提示・協議
- ・ 令和2年度の委員の選出

3月

第3回コミュニティ・スクール協議会

- ・ 各学校の運営状況等についての最終評価
- ・ 令和2年度の各校の学校運営の基本方針の承認

令和元年度の帯広第七中学校区コミュニティスクール事務局は、帯広第七中学校が務めます。事務局が担う仕事は、

- ① 協議内容の検討、資料の準備、通知発送、議事要旨作成、広報等の事務
 - ② 教育委員会への意見書及び各報告書の提出
- 各学校部会の事務局は、各学校に置かれます。各学校部会事務局が担う仕事は、

- ① 次年度協議会委員の選考（校長）
 - ② 次年度の学校運営の基本的な方針の作成（校長）
 - ③ 住民の参画促進等や意見の集約
- です。